

新〇〇システムの稼働判定について

IT-Professor

2021年〇〇月〇〇日

IT-Professor

- **新〇〇システムにおける稼働判定の判断**

- **承認者：システムオーナー**

本件の概要

背景/課題

- 経営環境の変化により、現在の〇〇システムの機能が業務ニーズとのミスマッチが多くなり、対応する必要性を認識した

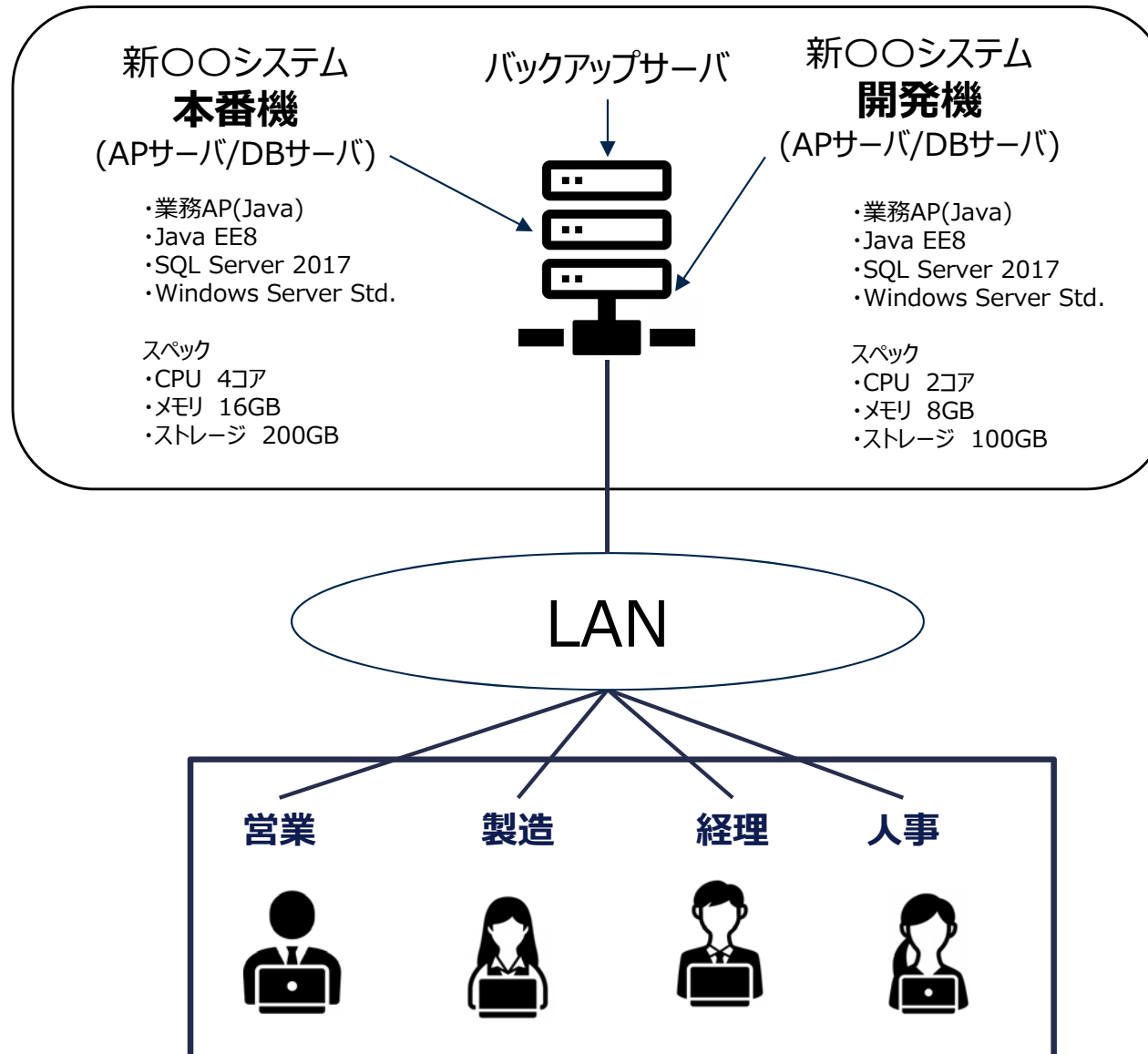
解決策の検討

- 〇〇システムの機能を標準化・最適化することによって、全体プロセスの効率化（時間短縮）を図りたい

アプローチ

- 既存の〇〇システムに適切な機能を追加・変更してアップグレードする

システム構成図



〇〇システムに関する稼働判定情報

No.	目標	結果	継続検討課題	達成状況
1	新システムの稼働に必要なシステム開発・機器の設置が完了していること	・統合サーバー上で稼働にて構成機器設置完了	・なし	
2	新システムの稼働に必要なシステムや機器のテストが実施され、品質基準を満たしていること（セキュリティ含む）	・2022年〇月〇日負荷テスト実施済み。問題なし	・なし	
3	新システムに移行するための準備やリハーサルが全て完了していること	・データ移行等のリハーサルは複数回数実施済み	・なし	
4	新システムを運用するために必要な業務手順書等の準備が完了し、必要な教育がされていること	・運用手順書整備・公開済み ・教育 → 全国の拠点に説明会実施済み	・なし	
5	新システムを運用・保守をするための体制が準備されていること	・運用・保守体制構築済み ・社内：IT部・パワーユーザー ・社外：構築ベンダーへエスケーション	・有事の際、ベンダーBCP確認必要	
6	新システムへの移行・本番稼働に際し、不測の事態が発生した場合の対応計画（コンティジェンシープラン）が明確であること	・可用性 -統合サーバーの可用性保証→「99.9%（年間停止時間概算：9時間）」	・なし	
		・バックアップ → 仮想マシンのシステムバックアップおよびシステム内データバックアップはともにデイリーに取得している	・なし	
		・BCP（全社課題）、IT-BCP・DRP（IT部課題）	・2022年度中に「DRP」は完了する予定	

〇〇システムの稼働判定について

■ 〇〇年〇月〇日より〇〇システムは育成期間(Nursing)であり、稼働後に発生したユーザーリクエスト、不具合や未整理機能について、有償無償に関わらず弊社は誠意をもって対応していると認識しています。ご判定願います。

① 合格

② 仮合格（前提あり）

③ 不合格

判定結果に関する貴社コメント欄：

不具合対応に多少の遅れはありましたが、全体的に見ますと上記の認識と齟齬はございません。合格です。

※赤色文字記載部分はシステムオーナーが記載する部分です。